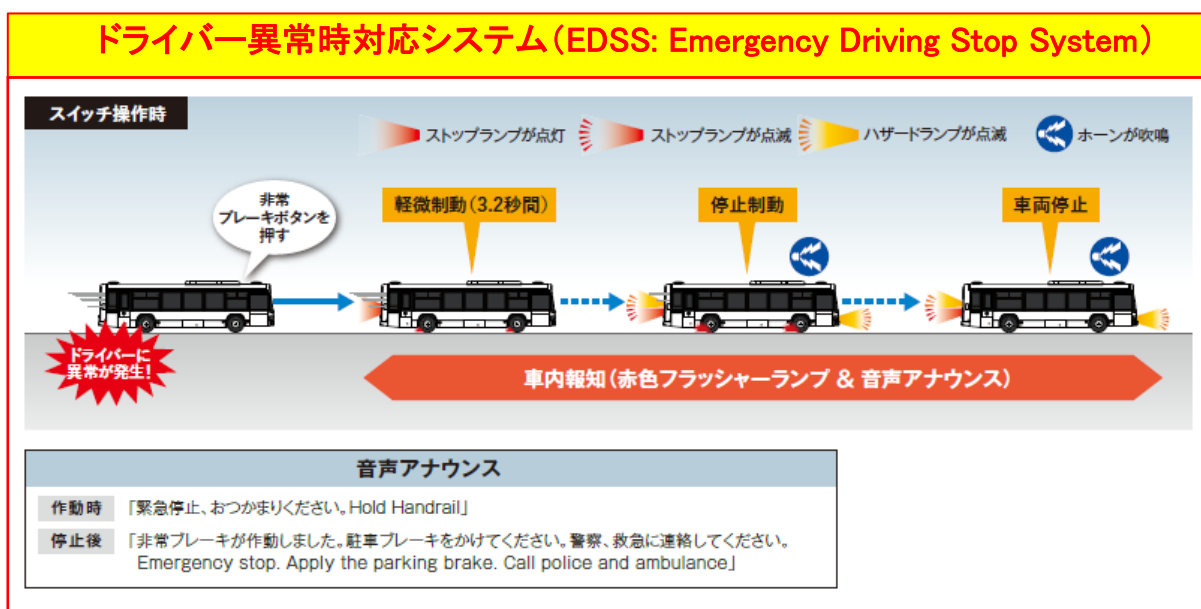


2019年 9月 2日
ちばグリーンバス株式会社

「ドライバー異常時対応システム」搭載の 大型路線バスを導入しました

京成グループのちばグリーンバス(本社:千葉県佐倉市、社長:勝田 佳男)では、大型路線バスに「ドライバー異常時対応システム」(EDSS:Emergency Driving Stop System)を搭載した車両を1両導入し、9月から運行を開始します。



非常ボタン(客席部前方1ヶ所)



非常ボタン(運転席左側)

「ドライバー異常時対応システム」とは、バス走行中に異常が発生した際、乗務員が運転席のスイッチを押すか、お客様が客席前方上部に設置された非常ブレーキスイッチを押すことで、車両が制動を開始し、段階的に速度を落とし停止するものです。また、車内では赤色フラッシャーの点滅と音声アナウンスによりお客様にお知らせするほか、車外へはホーンを鳴らし、ストップランプとハザードランプを点滅させてバスの周囲へ異常を知らせます。

ちばグリーンバスは、新造車両から「ドライバー異常時対応システム」を標準搭載し、お客様に安心・安全にご利用いただく為、これからもバス輸送サービスの安全対策に取り組んで参ります。

お客様のお問い合わせ先

ちばグリーンバス株式会社 佐倉営業所 TEL:043-481-0808

以 上

ご参考:「ドライバー異常時対応システム」搭載車両(大型路線バス)の概要

1. 車 種 いすゞ自動車 ERGA 大型路線バス(ノンステップ)
2. 定 員 84名(座席23名+立席60名+ドライバー1名)
3. 安全装置 ドライバー異常時対応システム
(緊急ボタンを押すことで、自動で制動を開始し停止させます。)
4. 運行路線 大型車両が走行可能な、一般路線全線
5. 導入日 2019年9月予定



車両イメージ